

健康ネットワーク

頸動脈エコーについて

近年、生活習慣の変化や食生活の欧米化、高齢者の増加に伴って、動脈硬化症が増えています。この動脈硬化に起因する脳梗塞、心筋梗塞、狭心症、閉塞性動脈硬化症などの疾患が増加しています。

特に頸動脈分岐部は、アテローム動脈硬化の好発部位とされており、この部位に発生する頸動脈狭窄症は、脳梗塞や一過性脳虚血発作の原因として注目されています。頸動脈エコーがその診断や病態の把握に適しています。また頸動脈の硬化は、他臓器の血管に起こる動脈硬化の変化とよく相関しているとも知られています。すなわち頸動脈エコーで頸動脈における動脈硬化を評価することは、全身の動脈硬化の進行を把握する有用な手がかりとなります。

この頸動脈エコーとは、患者さん

に横になつていただき、首の左右の血管に対して10分程度の超音波検査を行うといった簡便なもので、最大の利点は他の検査に比べて無侵襲かつリアルタイムに繰り返し施行できる点です。このため高血圧症や糖尿病、高脂血症など生活習慣病を有する患者さんは、かかりつけ医と相談して、検査を受けてみてはどうでしょうか。

医師 渡辺 實



羽生盆がたり

時代の流れと共に生活様式が大きく変わり、家庭の行事(晴れの日)も消えてなくなりつつあります。昔から伝えられてきた年中行事をお知らせしましょう。

家庭の年中行事 八月(葉月)

- 1日 釜の口あき 盆扶持
- 5日 せがき(本川保)
- 7日 七夕 井戸さらい
- 10日 せがき(稲子)
- 13日 迎え盆
- 14日 柵参り
- 15日 佛の野まわり やぶ入り(東合)
- 16日 天王様(井泉)
- 16日 送り盆 十王様(上羽生)
- 16日 百万遍(本川保)
- 17日 盆がら から盆
- 18日 石尊様(あげべっか・下げべっか)
- 20日 あんどん祭り(中岩瀬)
- 23日 地藏盆
- 27日 お諏訪様(今泉) 愛宕様(羽生) 悪魔ばらい(常木)

釜の口あき

地獄の釜の蓋があくという意味で、新盆の家では庭先に高燈ろうを立立て、初めて帰毛する佛様が道に迷わない様になります。

わしが死んだら山より高く立ておくれよ たかんとろう

施餓鬼

それぞれの寺によって月日が異なります。供養してくれる人のいない無縁の精霊や水子、飢えに苦しんでいる霊に食べ物や水、飢えに苦しんでいる霊に食糧を供え、その苦しみを救い私たちが生きていることに感謝する法会。寺では施餓鬼壇を作り、色々な食べ物や檀家の人も多く参加します。その後で説教を聞き、先祖に塔婆供養をします。

井戸さらい

朝食後、井戸の中に梯子をかけて水を全部くみ上げ、底に落ちてくるざるや皿等を拾い上げてきれいにします。終わ

ると井戸神様に御神酒とつとんを供え、夕方から井戸を使います。

七夕 里芋の葉にたまった露で墨をすり短冊に願い事を書き笹竹につけます。

笹竹と庭木の間にマコモであんだ縄をわたし、マコモの馬二頭(雄雌)を向いあわせてつけ、真ん中につとんを下げます。盗難除けや、子どもが水でおぼれたとき、この馬を燃やして体を温めると生き返るといので大切に保存します。

「ねぶた流し」といつて早朝に婦女子は、流れ川に入つて洗髪をする」と黒髪になるといわれていま



子育てまめ知識

しかり方について

2歳になる息子がとても活発で、危ないことも平気でしてしまうので、毎日しかってばかりです。でも、主人の実家では何をしても全然しかってくれず、逆に私がしかりすぎたと言われてしまいました。どうしたらよいでしょうか。

どうしたらよいか

この頃の子供は、まだ危険なことやいけないことも分らず、しかつたことのも全てを理解できるわけではありません。でも、だからといってしからないで過ごしてしまつと、子供は何が危険で、何がいけないことを学ばずに大きくなつてしまいます。これらを教えていくのは、両親だけでなく、周りの大人達みんなです。

どう対応したらよいか

まず、しかることが少しでも減るよう、またお母さんと子供さんが安心して

遊べるように、部屋の中で触られては困るものや危険なものは手の届かない所へしまいましょう。それでも危険なことをしてしまつたら、根気強くその都度「いけない」と子供の目を見てしかりましょう。次にしつけについては、お父さんにも一緒に考えてもらい、おじいちゃん達にはお父さんから両親の思いを伝えてもらうと良いですね。その時のポイントは、一つ一つダメなことを決めるのではなく、大雑把にここからはダメというラインを大人の中で統一し、「子供がこれをやつたら、いつでも、誰でもしかる」というのを決めることが大事です。そうしない子供も混乱してしまうからです。そして、お母さんも一人で子育ての責任を負わずに、肩の力を抜いて、周囲の大人達に「この子が悪いことをしたら、しかつて下さいね」と呼びかけてみましょう。

保健医療課 健康支援係

鳥風月

俳句 (俳句連盟会員)

- 疎かに出来る糠床夏に入る 南羽生 高野 知子
- 雨煙る際立つ朱色花石榴 中央一 小暮 薫
- つながらりて風吹き抜ける植田かな 南 七 斎藤 静江
- 井の涸れて二の丸跡や夏つばめ 上手子林 酒巻志知子
- 江戸情緒のこる町並白日傘 中手子林 塩田 章子
- 水音の方へ方へと苑薄暑 上岩瀬 篠崎 貞子
- 大鳥居くぐる一步に香る藤 上新郷 島崎 君江
- 雨上る代田とのふ水明り 東一 杉下 ゆき
- 孵化したる金魚の稚魚の黒きかな 町屋 諸徳寺富士子
- ベンチより片足落とし三尺寝 須影 杉森 和子
- 水引いて田に賑やかな蛙の夜 藤井上組 杉山 榮
- 松の花名も宿通り奇北の碑 稲子 鈴木富美子
- 弥勒野の晴れて赤城の夏霞 上新郷 鈴木 理青
- 草と草揺れて引き合ふ蜘蛛の糸 南 五 須永 シン
- 黙々と制限時間茶を摘めり 三田ヶ谷 関口 英子
- 薫風に利根の水門開けられて 特養棟をかこむ青田よ 須影 野村 節子
- 水仙の一輪さしに迎える 手作り蕎麦の宴たけなわ 上新郷 須永 悠古
- 日照雨やみ露につつまる菖蒲田の 八分咲きなる花の幽かに 中央四 瀬田 芳子